

◆たくましい子 ◆ちからをあわせる子 ◆ばっちり学ぶ子 ◆なにごとやりぬく子



たちばなっ子

橘小学校だより
29年3月14日
道徳推進部

“少年は手を離せ、目を離すな”

♡ ココロを育てる道徳の授業 ♡ ～ゲストティーチャーをお招きして～

今年度も道徳の時間にたくさんのゲストティーチャーからお話を伺うことができました。ご協力いただきました皆様、大変ありがとうございます。ゲストティーチャーからお話を聴く子どもたちの表情は、どの学年もきらきらとしていて真剣そのものです。

それでは、以前ご紹介できなかった学年の様子を紹介します。



ゲストティーチャーの
大山さんと小竹さん
お二人が小学生だった頃の思
い出を話して下さいました。

6年生 受け継がれてきた伝統について考える道徳

資料名「校歌にこめた思い」

卒業を控えた6年生にとってとても心に響いた道徳でした。この橘小学校で6年間過ごした6年生。知らず知らずのうちに守り続けてきたこの橘小学校の伝統は、おじいちゃんおばあちゃんの世代からも受け継がれてきているものだと感じることができたのではないのでしょうか。そして、6年間歌い続けてきた校歌はお父さんお母さんもおじいちゃんおばあちゃんも歌ってきたものです。そのことに気付いた子どもたちは「これからどんな風に校歌を歌っていききたい？」と問われると、『歌詞の意味を考えながら歌いたい。』とか『受け継がれてきた伝統を感じながら歌いたい。』というような意見が聞かれました。

卒業式はもう間近まで迫ってきています。このとき感じた思いを乗せて歌ってほしいものです。そして、在校生のみんなもこの伝統を少し感じてほしいものです。



3年生 郷土に対する愛情を育てる道徳

資料名 「秋吉のあまめはぎ」

私たちにとって、とても身近な川北まつり。地域での虫送りや大かがり火、それらのすべてが子どもたちにとって当たり前のように行われてきたものでした。そこで、宮川さんのお話を伺って、川北まつりを行うためにたくさんの人たちが関わっていることに気付くことができました。そして、自分たちが大人になってからも関わっていきたいという思いを抱いた子もいたのではないのでしょうか。



2年生 命の大切さについて考える道徳

資料名 「ふしぎな音」

「命は大切なもの」ということは2年生の子どもたちにとっても当たり前のように分かっていることです。しかし、今回保健師さんのお話を伺って新たな気づきがたくさんあったようです。自分の命はとっても小さな命から始まっているということ。その命はお家の方や周りの人たちの思いが詰まっているということ。だから自分一人のものではないから大切にするんだということ。

丸山さんのお話をとっても真剣に聞いて、命の大切さについて考えることができました。

1年間通して、子どもたちの心をはぐくむ道徳教育にたくさんのご協力・ご理解ありがとうございました。ぜひ来年度も「最近の道徳は、何したの？」と尋ねてみて下さい。きっと子どもたちから学校での勉強の様子が聞こえてくるのではないのでしょうか。来年度もよろしくお願いいたします。